

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-012)

1 バヌアツ当局は、同国からインターネット詐欺行為を働いた疑いのある 6 名の中国人を拘束（全員または一部が中国とバヌアツの双方の国籍を保有との報告あり）

[原文](#)

(29 June 2019, Channel News Asia)

2 インドネシア（Bakamla）とアメリカ（USCG）の海上保安機関が連携して、カンボジア、マレーシア、タイ、ベトナムの職員を招聘して、インドネシアのバリで海上法執行訓練を実施

[原文](#)

(30 June 2019, The Jakarta Post)

3 アメリカの航空会社（United）が、グアムと名古屋間に、現在の週 4 便を変更し、毎日 2 便の定期便を本年 10 月 28 日より開始する予定

[原文](#)

(1 July 2019, Pacific Island Times)

4 「太平洋島嶼国と東ティモールの持続可能な経済成長を支える重要なインフラプロジェクトを（14 億 US ドルの施設により）支援する」とオーストラリア外相が発言

[原文](#)

(2 July 2019, Radio NZ)

5 「アメリカやラテンアメリカ（中南米）から南太平洋島嶼国を通じて薬物（コカインや覚せい剤）がオーストラリアに運ばれている」という Guardian 紙の報告にパラオの麻薬取締局長が「同国も薬物ルート内であり、薬物の脅威は高く、警戒監視を強める」と発言

[原文](#)

(2 July 2019, Island Times)

※以下のIsland Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。

その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試してください。

6 スリランカは、第 15 回目アジア海上保安機関長官級会合（HACGAM）事務レベル会合を 7 月 8 日～11 日にかけてコロンボで開催（10 月 7 日～10 日に

かけて長官級会合を実施予定)

[原文](#)

(3 July 2019, Daily News)

7 オーストラリア政府は、新たに設置予定である太平洋情報共有センター (Pacific Fusion Center) に太平洋島嶼国から 8 名、オーストラリアから 3 名の分析者を配置することを検討

[原文](#)

(5 July 2019, Island Times)

8 日本、アメリカ、オーストラリアは共同して、中国の南太平洋への影響力拡大に対抗 (日本は「自由で開かれた太平洋」を提唱し、経済援助を約束)

[原文](#)

(3 July 2019, Nikkei Asian Review)

【中国運輸省によるマラッカ海峡セキュリティーレベル引き上げ関連】

9 中国運輸省は、マラッカ海峡を航行する中国関係船舶に対するセキュリティーレベル (勧告) を 3 段階の最高位に引き上げ (特段の理由の言及無し)

[原文](#)

(3 July 2019, Reuters)

10 「マラッカ・シンガポール海峡における差し迫った船舶への脅威は無い」と MPA (シンガポール海事港湾庁) が発表

[原文](#)

(5 July 2019, Today-online)